

【選考基準】

1. 「認定する定数」ならびに「分野と専門の区分」について

認定する定数(規程第4条6号, 規程第5条3号)	年間、総計20名程度を目途とする ※委員会が毎年予め認定する定数を定め、理事会の承認を得る ※技術フェローの人数は、正会員数の3%程度を目安とする				
分野と専門の区分 (規程第6条)	分野	計画・設計系	研究・開発系	学術系	施工系
	専門1(専門領域)	1)空調 2)衛生 3)建築 4)電気 5)機械 6)環境 7)エネルギー			
	専門2(専門技術)	①業務施設関連技術 ②産業施設関連技術 ③特別施設関連技術 ④LCM・運転保守管理技術 ⑤環境技術 ⑥応用基礎工学技術 ⑦法令・周辺事業領域 ⑧その他(上記①～⑦に該当しない場合は、15文字以内で記入して下さい。)			

2. 技術フェローの応募要件について

資質・技術レベル・教育的な立場として必要な要件	A. 必須条件	資質要件	(1)極めて高度な技術を有し、空気調和・衛生工学関連分野の技術向上や設備技術者の業容拡大に大きな貢献をしてきた会員であること (2)現在も第一線で活躍している会員であること		
		会員歴	(3)累積の学生会員、正会員歴が15年以上であること		
		CPD参加履歴と取得ポイント	(4)「SHASE-CPD」に参加していて、累積取得ポイントが250ポイント以上であること		
B. 技術レベルの要件	(a)～(e)のうち3つ以上を選択して具体的に記載してください。	(a)受賞歴	本学会の学会賞(論文賞・技術賞)、学会特別賞(十年賞・リニューアル賞)、学会振興賞、その他学協会等の同等以上の受賞をしていること ※学会賞技術賞・学会振興賞技術振興賞は団体に贈られるものであるが、この実質上の担当者であること		
		(b)資格、称号	(b-1)関連外国学会でフェローとなっていること (b-2)博士、技術士、設備設計一級建築士、建築設備士、一級管工事施工管理技士、空気調和・衛生工学会設備士、または高度な資格を保有していること		
		(c)本学会活動への顕著な寄与のあること	※本学会の理事、監事や委員会委員長、主査、幹事の歴任、本部支部の委員会活動の歴任があること		
		(d)技術業績	(d-1)評価の高い発明あるいは技術・製品開発があること (d-2)評価の高い論文、著作、出版物があること (d-3)評価の高いシステムの計画・設計・施工等の実績および事例発表のあること (d-4)新しい分野(ニューフロンティア)の開拓に実績のあること		
		(e)教育業績	社内外、学内外の教育的な立場の要件 ※研修会、講習会、見学会の実績についてはCPD対象であることが好ましい		
		【計画・設計系, 研究・開発系】 教育的立場の実績 ※社内外の教育活動を推進・指導する立場にあり、その実績を有すること i)社内外の研修会や講習会などの講師実績 ii)現場見学会の開催実績(主担当)	【学術系】 専門分野における指導的立場の実績 ※研修・講習または産官学の連携活動に対して指導的立場にあり、その実績を有すること i)研修会や講習会などの講師実績 ii)産官学共同研究の実績	【施工系】 教育指導的立場の実績 ※社内外の教育活動を推進・指導する立場にあり、その実績を有すること i)社内外の研修会や講習会などの講師実績 ii)現場見学会の開催実績(主担当)	

3. 技術フェローの選考方法と選考基準

選考方法	* 資質・技術レベル・教育的な立場として必要な要件を満足して技術フェローとしてふさわしい実績か否かについて評価して選考を行う * この選考をクリアした人数が毎年予め認定する定数に見合う場合は、全員を候補者とする ※候補者とされなかった応募者には選考結果を報告して、再応募を認める
選考基準	・Aの必須条件を全て満足していること ・Bの技術レベル(a)～(e)のうち3つ以上を満足し、かつ実績が明確であり秀でた実績と認められること